

■一般目標（GIO）

口腔外科で取り扱う疾患と全身との関係，あるいは全身疾患と口腔との関係を学ぶ。さらに口腔外科領域の疾患を理解し，実際の歯科衛生士の介助や患者への対応の際に必要な基礎的知識を修得する。

■到達目標（SBOs）

- 清潔と不潔の区分を説明できる。
- 基礎疾患を有する患者の歯科治療時における注意点を述べることができる。
- 抜歯術と小手術の基本手技を説明できる。
- 顎口腔領域の先天異常・発育異常を説明できる。
- 口腔粘膜病変の種類と病態を説明できる。
- 唾液腺疾患と神経疾患の種類および病態を説明できる。
- 炎症性疾患の病態と消炎手術の基本手技を説明できる。
- 顎口腔領域に発生する嚢胞の種類および病態を説明できる。
- 顎口腔領域に発生する腫瘍の種類および病態を説明できる。
- 創傷の治癒と創傷の処置を説明できる。
- 歯科インプラント治療の基本的事項を説明できる。

- 教科書：1. 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・麻酔科学（医歯薬出版）
2. 歯科衛生士必須 有病者歯科学（日本有病者歯科医療学会）
3. 歯科国試パーフェクトマスター口腔外科学 I（医歯薬出版）

■参考書：口腔外科学（学建書院）

- 授業時間：木曜日 (1) 9:00 ~ 9:50
(2) 10:00 ~ 10:50

- オフィスアワー：金子 忠良 火曜日，木曜日 16:30~17:30
kaneko.tadayoshi@nihon-u.ac.jp
篠塚 啓二 火曜日，木曜日 16:30~17:30
shinozuka.keiji@nihon-u.ac.jp
白土 博司 火曜日，木曜日 16:30~17:30
shiratsuchi.hiroshi@nihon-u.ac.jp
玉川 崇皓 火曜日 16:30~17:30
tamagawa.takaaki@nihon-u.ac.jp

■授業の方法：教科書，参考書の内容をもとに講義する。

■準備学習・講義項目について事前に教科書や参考書を読み，出席するこ
準備学習時間：と。各々授業時間相当を充てて予習を行うこと。

■成績評価方法：定期試験(80%)，出席(20%)を総合して評価する。

■注意事項：事前に教科書を読み，わからない単語を調べること。
講義には教科書および記録したノートを持参すること。

■実務経験：金子 忠良：現在，日本大学歯学部口腔外科学第Ⅱ講座に在籍しており，口腔外科診療の経験を基に口腔外科医の立場から口腔外科学関連の各種疾患の病態・治療法などについて，本教科で学ぶ内容がいかに実際の臨床で活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

篠塚 啓二：現在，日本大学歯学部口腔外科学第Ⅰ講座に在籍しており，口腔外科医の立場から口腔外科学関連の各種疾患について，これまでの口腔外科診療の経験を基に講義を行い，学ぶ場を提供したいと考えている。

白土 博司：現在，日本大学歯学部口腔外科学第Ⅱ講座に在籍しており，口腔外科医の立場から口腔外科学関連の各種疾患について，これまでの口腔外科診療の経験を基に講義を行い，学ぶ場を提供したいと考えている。

玉川 崇皓：現在，日本大学歯学部口腔外科学第Ⅱ講座に在籍しており，口腔外科医の立場から口腔外科学関連の各種疾患について，これまでの口腔外科診療の経験を基に講義を行い，学ぶ場を提供したいと考えている。

伊藤 伸介：現在，日本大学歯学部口腔外科学第Ⅰ講座に兼任講師として在籍しており，地域医療の現場で口腔外科診療を実践する立場から口腔外科学関連の各種疾患について，これまでの経験を基に講義を行い，学ぶ場を提供したいと考えている。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第9・10回 5月20日 金子 忠良	1) 口腔外科とは (教) pp. 2-5 2) 顎・口腔領域の特徴 と主な疾患 (教) pp. 5-8 3) 口腔病変と全身疾患 (教) pp. 8-9 4) 基礎疾患と歯科治療 (教) pp. 9-18	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顎，口腔の解剖を把握し，領域疾患の特徴，診断法，治療法を理解する。 ・ 口腔外科診療における歯科衛生士の役割を理解する。 ・ 口腔病変と全身疾患の関係を学ぶ。 ・ 歯科診療で問題となる基礎疾患を理解する。 ・ 基礎疾患を有する患者の歯科治療時の注意点を理解する。
第11・12回 5月27日 篠塚 啓二	1) 口腔領域の先天異常 と発達異常 (教) pp. 19-33 2) 顎口腔領域の損傷および機能障害 (教) pp. 34-44. 48	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔軟組織の先天異常と発育異常を理解する。 ・ 口唇裂口蓋裂を理解する。 ・ 顎の先天異常と発育異常を理解する ・ 軟組織損傷を分類し説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯および歯槽骨の損傷を分類し説明できる。 ・ 顎骨骨折を分類し説明できる。 ・ 顎骨骨折の治療法を説明できる。
第13・14回 6月3日 篠塚 啓二	1) 創傷処置 (教) pp. 136-138 (教) pp. 252-255 2) 口腔出血に対する処置法 (教) pp. 163-168 (教) pp. 252-255 3) 縫合処置 (教) pp. 168-172 (教) pp. 252-255	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創傷の治癒機転を理解する。 ・ 創傷処置の手順を説明できる。 ・ 止血法を分類し説明できる。 ・ 止血剤と止血薬を分類し、その使用法を説明できる。 ・ 縫合の種類と目的を理解する。 ・ 縫合に必要な器具と基本的な扱いを理解する。
第15・16回 6月10日 金子 忠良	口腔粘膜の病変 (教) pp. 50-69 (教) pp. 70-79	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔粘膜疾患の種類と病態を理解する。 ・ 口腔粘膜疾患の診断と治療を理解する。 ・ 粘膜の出血、貧血を主徴とする疾患を理解する。 ・ 全身性疾患に伴う口腔粘膜症状を理解する。 ・ 前癌性病変を理解する。 ・ 主な口腔粘膜の異常および疾患を理解し、その症状、治療法を説明できる。
第17・18回 6月17日 篠塚 啓二	1) 抜歯術 (教) pp. 139-151 (教) pp. 234-240 2) 歯槽骨整形術 (教) pp. 158-159 (教) pp. 246-249 3) 小帯切除術 (教) pp. 159-161 (教) pp. 248-249	<ul style="list-style-type: none"> ・ 抜歯の適応症と偶発症を理解する。 ・ 抜歯の術式と介助の方法を理解する。 ・ 歯槽骨整形術の目的と術式を理解する。 ・ 口腔内の小帯の種類を理解する。 ・ 小帯異常の治療法を理解する。 ・ 歯の発達異常を理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第19・20回 6月24日 伊藤 伸介 白土 博司	1) 顎口腔領域の化膿性炎症性疾患 (教) pp. 80-88 2) 消炎手術 (教) pp. 138 (教) pp. 232-234	<ul style="list-style-type: none"> ・ 炎症性疾患の臨床症状を理解する。 ・ 消炎処置の方法を説明できる。 ・ 原因および感染経路を理解する。 ・ 消炎処置における使用器具，術式を理解する。
第21・22回 7月1日 伊藤 伸介 白土 博司	1) 顎口腔領域の嚢胞性疾患 (教) pp. 89-96 2) 嚢胞摘出術 (教) pp. 152-154 (教) pp. 240-244 3) 根尖切除術 (教) pp. 154-156 (教) pp. 244-246	<ul style="list-style-type: none"> ・ 嚢胞の定義を説明できる。 ・ 顎口腔領域に発生する嚢胞を理解する。 ・ 嚢胞の病態と診断法を理解する。 ・ 嚢胞の治療法と予後を理解する。 ・ 根尖切除術の適応症と術式を理解する。
第23・24回 7月8日 金子 忠良	1) 顎口腔領域の腫瘍 (教) pp. 97-108 2) 顎口腔領域の腫瘍類似疾患 (教) pp. 108-111 3) 良性腫瘍摘出術 (教) pp. 157-158 (教) pp. 240-244	<ul style="list-style-type: none"> ・ 腫瘍の概念を理解する。 ・ 良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。 ・ 腫瘍の分類を理解する。 ・ 腫瘍類似疾患を理解する。 ・ 良性腫瘍の手術法を理解する。
第25・26回 7月15日 白土 博司	1) 唾液腺疾患 (教) pp. 67-70 (教) pp. 112-121 2) 口腔領域の神経疾患 (教) pp. 122-129	<ul style="list-style-type: none"> ・ 唾液腺の種類を説明できる。 ・ 唾液腺の炎症性疾患と唾液腺腫瘍を理解する。 ・ 顎口腔の神経支配を説明できる。 ・ 三叉神経痛，三叉神経麻痺，顔面神経麻痺の臨床症状を説明できる。
第27・28回 8月26日 白土 博司	歯科インプラント手術 (教) pp. 161-163 (教) pp. 250-252	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科インプラント治療，手術の基本を理解する。
第29・30回 9月2日 玉川 崇皓	1) 清潔と不潔 (教) pp. 135-136 2) 診療室と器材の管理 (教) pp. 268-270	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清潔不潔を理解する。 ・ 滅菌と消毒の方法を理解する。 ・ 診療器材の保管方法を理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	3) 口腔外科手術の術前 術後ケア (教) pp. 223-225 (教) pp. 257-259	<ul style="list-style-type: none">・ スタンダードプレコーションの考え方を理解する・ 口腔外科手術を受ける患者の術前術後ケアを理解する。